

ID No.	331
研究課題名	腸内免疫環境ネットワークを介した生体制御
研究代表者	國澤 純 (医薬基盤・健康・栄養研究所・プロジェクトリーダー)
研究組織	<p>受入教員 清野 宏 (東京大学医科学研究所・教授)</p> <p>研究分担者 長竹 貴広 (医薬基盤研究所・研究員)</p> <p>鈴木 英彦 (医薬基盤研究所・研究員)</p> <p>柴田 納央子 (東京大学医科学研究所・特任研究員)</p> <p>神岡 真理子 (東京大学医科学研究所・大学院生)</p>
研究報告書	<p>食用油の脂肪酸組成に着目した研究から、亜麻仁油が腸管アレルギーを抑制出来ること、さらには生体内で産生される抗アレルギー炎症性脂質代謝物を同定した (Kunisawa J et al, Sci Rep, 2015)。</p> <p>腸管でのIgA産生経路において、B細胞の分化に伴いエネルギー代謝が変化すること、エネルギー代謝のシフトと食事性ビタミンB1に対する依存性が相関することを明らかにした (Kunisawa J et al, Cell Rep, 2015)。</p> <p>腸管での生体防御に関わる上皮細胞の糖鎖修飾において、T細胞から産生されるIL-10 が抑制的に機能していることを見いだした (Goto Y et al, Sci Rep, 2015)。</p>